

日立ダイアグモニタHDM-8000操作ガイド
 BMW&MINI/CBS リセット(オイル交換後のリセットなど)/Ver.4.68以降

注意事項/必ずお読みください

- フロントブレーキまたはリアブレーキのリセットを行う場合、ブレーキパッドとパッド摩耗センサを同時に交換してからリセットを行って下さい。
- Fシリーズ(F01,F10,F30 など)は、車両チェックとエンジンオイルが連動しています。同時にリセットを行う場合、先にエンジンオイルをリセットしてから行って下さい。
- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点をご参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

1. CBS リセットでリセットされる項目と操作手順の参照先について

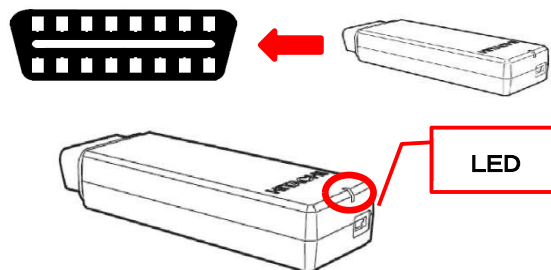
車種	CBS 項目	リセット実行前に行う設定手順の掲載ページ	CBS項目別操作手順掲載ページ	
2006y モデルまでの 1 シリーズ(E81,E82,E87,E88) 3 シリーズ(E90,E91,E92,E93) 5 シリーズ(E60,E61) 6 シリーズ(E63,E64)	エンジンオイル	2/13~4/13ページ	8/13ページ	
	スパークプラグ			
	ブレーキ液			
	マイクロフィルタ		9/13ページ	
	フロントブレーキ			
	リアブレーキ			
	車両チェック			10/13ページ
	法定点検(1年点検)			11/13~12/13ページ
	排ガス点検(車検)			
7 シリーズ(E65,E66)	エンジンオイル	2/13~4/13ページ	8/13ページ	
	スパークプラグ			
	クーラント			
	マイクロフィルタ		9/13ページ	
	ブレーキ液			
	フロントブレーキ			
	リアブレーキ			
	車両チェック			7/10ページ
	法定点検(1年点検)			11/13~12/13ページ
排ガス点検(車検)				
その他	エンジンオイル※	2/13~4/13ページ	8/13ページ	
	ブレーキ液		9/13ページ	
	フロントブレーキ			
	リアブレーキ		10/13ページ	
	車両チェック			
	法定点検(1年点検)			11/13~12/13ページ
	排ガス点検(車検)			

*(i3_I01 で 2015/11 より前の車両では表示されません。)

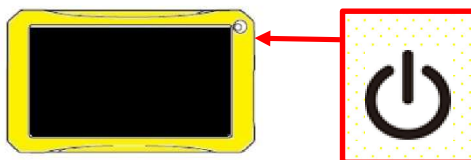
(次ページに続きます)


【手順001/車両へのHDM-8000の接続と起動】

- ①HDM-8000のインターフェイスボックスを車両側の診断コネクタに接続して下さい。
- ②HDM-8000のインターフェイスボックス本体側LED が緑色に点灯していることを確認して下さい。



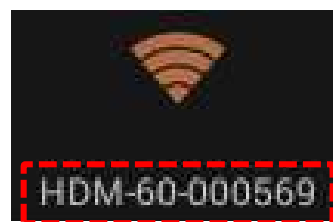
- ③HDM-8000のタブレット本体の右側面にある電源スイッチを押して、タブレットを起動して下さい。



- ④タブレットが起動したら画面上のカギのマーク  に指を当てて右側にスライドさせて、画面ロックを解除して下さい。
- ⑤タブレットとインターフェイスボックスが無線 (Wi-Fi/ワイファイ) で接続されているか確認を行います。まず、「車両一覧」画面が表示されましたら画面右上に指を当てて、そのまま下におろして「クイック設定ツール」を表示して下さい。

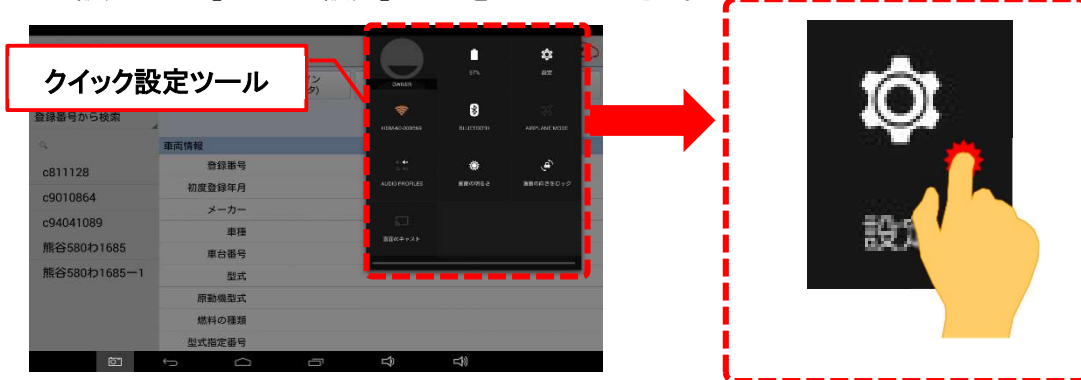


- ⑥「クイック設定ツール」内にあるWi-Fi(ワイファイ)のアイコンが右図の様に色が反転した状態で表示され、その下にHDM8000のインターフェイスボックスのシリアル番号(右図の破線で囲われた文字列)が表示されていれば無線での接続がされております。次の【手順002】に進みます。



【手順002/「設定」の表示】

「クイック設定ツール」内の「設定」マークをタップして下さい。



(次ページに続きます)

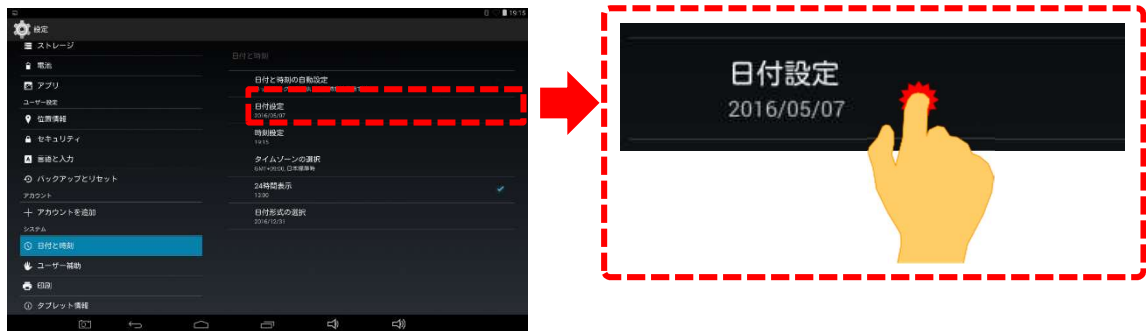
【手順003/現在時刻の設定】

リセットを実行する前に、必ずHDM-9000本体内部の時計を現在時刻に設定してください。

- ① 「設定」が表示されましたら左側に表示されているメニューを上方向にスクロールさせ、「日付と時刻」が表示されましたらタップしてください。



- ② 右側のメニューの「日付設定」をタップしてください。

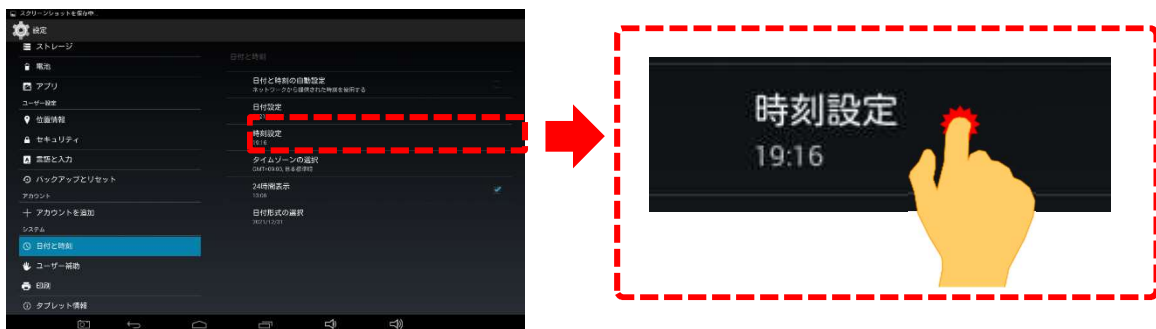


※「日付と時刻の自動設定」にチェック☑が入っている場合はチェック☑を外してください。

- ③ 「日付設定」が表示されましたら、それぞれの項目をスクロールさせて現在の年月日に合わせて、最後に完了をタップしてください。



- ④ 「時刻設定」をタップしてください。



- ⑤ 「時刻設定」が表示されましたら、それぞれの項目をスクロールさせて現在の時刻に合わせて、最後に完了をタップしてください。




- ⑥ 画面下部の戻る()をタップしてください。

(次ページに続きます)

【手順004/「故障診断」のタップ】

- ① タブレットの「車両情報」の欄(赤の破線で囲われた部分が空欄であることを確認して下さい)。(※1、※2)



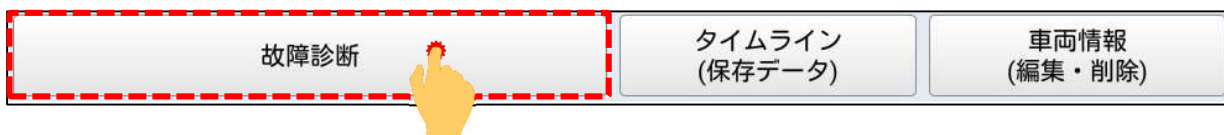
※:「車両情報」の欄に作業中の車両と異なる車両の情報が表示されている場合は画面下部の「戻る」
 ボタンをタップすると空欄になります。

- ② 画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい(【手順005に進みます】)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】

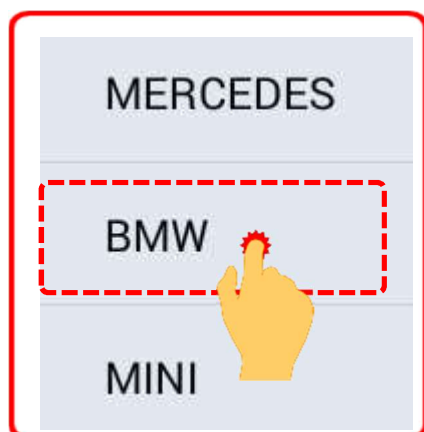


【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】



【手順005/メーカー選択】

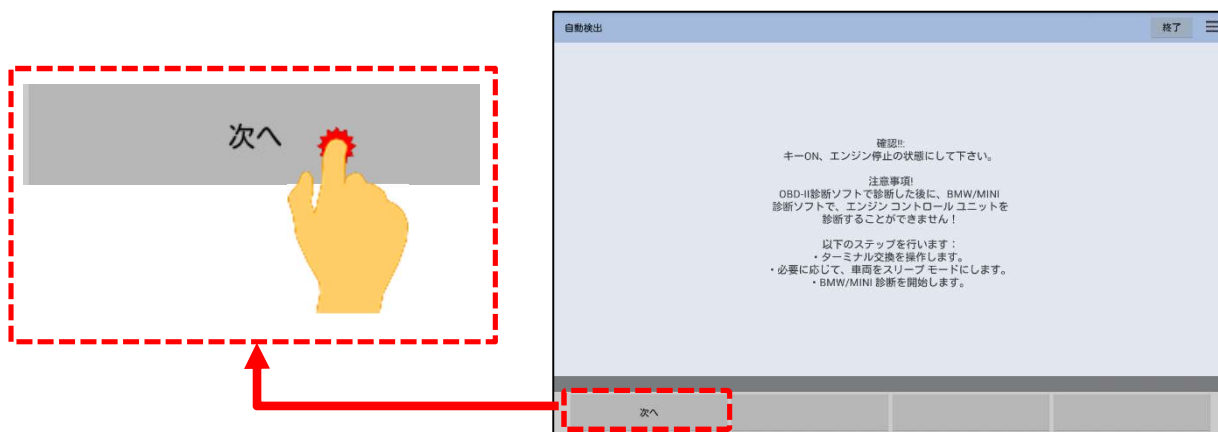
画面に「接続中...しばらくお待ちください」が表示されたあと「メーカー選択(診断ソフトの選択画面)」が表示されます。画面を上方向にスクロールさせて「BMW」をタップして下さい。



(次ページに続きます)

【手順006/操作上の注意メッセージの表示】

操作上の注意メッセージが表示されます。確認後、画面左下の「次へ」をタップしてください。



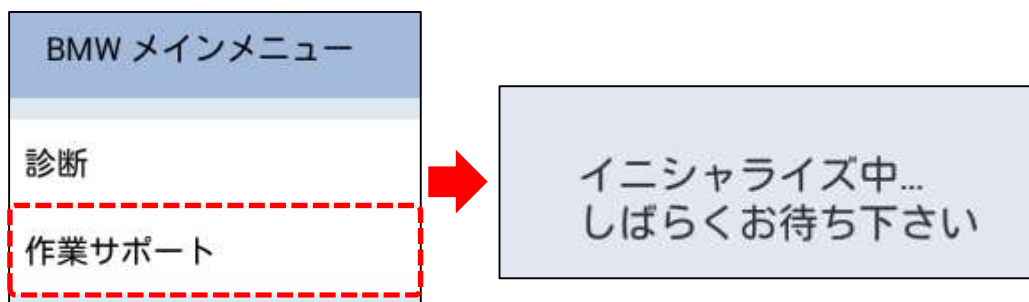
【手順007/車両情報の表示】

しばらくの間「車両搭載システム確認中」が表示された後、車両情報が表示されます。確認後、画面左下の「次へ」をタップしてください。



【手順008/車両情報の表示】

「BMW メインメニュー」が表示されましたら「作業サポート」をタップしてください。



【手順009/車両情報の表示】

「作業サポート」が表示されましたら「CBS リセット」をタップしてください。



(次ページに続きます)

【手順010/車両の日付と時刻設定から CBS 範囲の読み取り】

①「今日の日付」が表示されましたら日付の入力欄をタップしてください。キーボードが表示されますので西暦/月/日の順番で入力を行い、最後に画面左下の決定をタップしてください。



②「現在の時刻」が表示されましたら時刻の入力欄をタップしてください。キーボードが表示されますので時刻の入力を行い、最後に画面左下の決定をタップしてください。



③日付と時刻の設定が開始されます。その後、CBS 範囲の読み出しが開始されます。



【補足】

上記の①②をキャンセル、または③の時間設定が出来なかった場合は下図の画面が表示されます。その際は車両側の日付を手動で設定してください。



(次ページに続きます)

【手順011/「選択、CBS 範囲のリセット」の表示】

下図のリセット項目一覧が表示されます。それぞれの項目のリセット方法は下記(イ)～(二)を参照ください。

選択、CBS 範囲のリセット		戻る	終了	≡
エンジンオイル	92 % / 25000 km / 9			
フロントブレーキ	98 % / 5			
リアブレーキ	98 % / 3			
ブレーキフルード	91 % / 24 ヶ月 / 10			
車両チェック	93 % / 255000 km / 5			
法定排気ガス点検	10 / 2017			
§法定点検	10 / 2016			

(イ) エンジンオイル、スパークプラグ、マイクロフィルタ、ブレーキフルード

⇒8/13ページ「3.エンジンオイルのリセット」

(ロ) フロントブレーキまたはリアブレーキ⇒9/13ページ「4.ブレーキのリセット」

(ハ) 車両チェックのリセット⇒10/13ページの「5.車両チェックのリセット」

(ニ) 法定点検または排気ガス点検⇒11/13ページ「6.法定点検リセット」

【補足】

2シリーズ(F45,F46)、I3(I01)、MINI(F55,F56)などのフロントブレーキまたはリアブレーキは、上図のようにパーセントの表示ではなく、パッドが正常である時は「未算出」、異常になると残りの距離が表示されます。

選択、CBS 範囲のリセット		戻る	終了	≡
エンジンオイル	92 % / 15000 km / 1			
フロントブレーキ	未算出 / 1			
リアブレーキ	未算出 / 1			
ブレーキフルード	100 % / 24 ヶ月 / 2			
車両チェック	99 % / 60000 km / 1			
法定排気ガス点検	06 / 2018			
§法定点検	06 / 2016			

(次ページに続きます)

3.エンジンオイルのリセット

【手順001:エンジンオイルの選択】

リセット項目一覧の「エンジンオイル」をタップしてください。



【補足】

カーソルを合わせた項目の値が80%以上の場合は右の様に「本当にリセットしますか？」と確認のメッセージが表示されます。状況を確認後、実行または中止をタップしてください。



【手順002:リセットの実行】

「CBS リセットが実行されます」と表示されます。画面左下の「実行」をタップするとリセットが開始されます。



CBS リセットが実行されます。
お待ちください!

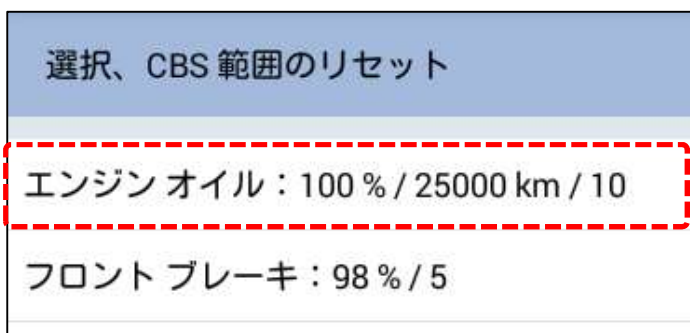
【手順003:リセット後の値の読み取り】

リセットが完了すると、リセット後の値の読み取りが開始されます。
※リセットが完了されない場合の表示は13/13ページの「7.リセット未完了時のメッセージ一覧」を参照ください。

CBS 範囲が読み出されます。
お待ちください!

【手順004:リセット後の状態確認】

リセット項目一覧が表示されます。リセット後の値が100%になっているか確認してください。
(完了)



4.ブレーキのリセット(例:フロントブレーキ)

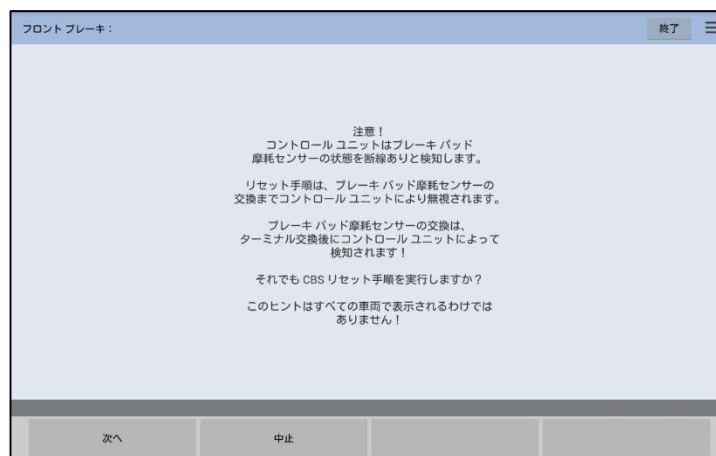
- ① リセット項目一覧の「フロントブレーキ」をタップしてください。
- ② 「イニシャライズ中」と表示され、最初にパッドセンサの状態をチェックします。(下図)



- ③ 「CBS リセットが実行されます」と表示されましたら実行キーをタップしてください。リセットが実行されます。 ※リセットが完了されない表示は13/13ページの「7.リセット未完了時のメッセージ一覧」を参照ください。
- ④ リセット後の状態読み取り画面が表示されます。
- ⑤ 「選択、CBS 範囲のリセット」が表示されましたらフロントブレーキの値がリセットされたか確認してください。

【補足1】

上記②を実行した際、センサが摩耗または故障などの異常である場合、下図のメッセージが表示されます。パッド摩耗センサを交換していない場合は中止をタップします。交換済の場合は「次へ」をタップしてください。



【補足2】

2シリーズ(F45,F46)、I3(I01)、MINI(F55,F56)などのフロントブレーキ、またはリアブレーキの状態がリセットしてから1000kmを満たさない場合、下図が表示されます。



5.車両チェックのリセット(例:フロントブレーキ)

- ① リセット項目一覧の「車両チェック」をタップしてください。
- ② 下図の画面が表示されます。画面左下の「次へ」をタップしてください。(補足1も参照ください)



- ③「CBS リセットが実行されます」と表示されましたら、実行を押してください。リセットが実行されます。
※リセットされない場合の表示は13/13ページの「7.リセット未完了時のメッセージ一覧」を参照ください。
- ④リセット後の状態読み取り画面が表示されます。
- ⑤「選択、CBS 範囲のリセット」が表示されましたら車両チェックの値がリセットされたか確認してください。

【補足】

エンジンオイルの値が99%以上ではない場合は下図が表示されます。



6.法定点検のリセット

【注意】

- 車両側の日付と時刻が正しく設定されているか確認して下さい。正しく設定されていない場合は、手動で日付と時刻を設定して下さい。
- 点検時期の入力する時期は以下の設定を参考にして下さい。
 - 法定点検(1年点検、初年度登録時から1年目のみ)⇒リセットする日付+1年
 - 法定点検(1年点検)、排ガス点検(車検)⇒リセットする日付+2年

【手順001:法定点検の選択】

リセット項目一覧の「法定点検」をタップしてください。

車両チェック：99 % / 60000 km / 2

法定排気ガス点検：03 / 2019

§法定点検：03 / 2017

【手順002:日付(月)の入力】

- ① 日付の月の入力画面が表示されましたら入力欄をタップしてください。
- ② キーボードが表示されますので月を入力します。
- ③ 画面左下の「決定」をタップします。

【補足】日付の入力を間違えると右図が表示されます。

注意：
日付入力時のエラー
インプットを繰り返します！

【手順003:日付(年)の入力】

- ④ 日付の年の入力画面が表示されましたら入力欄をタップしてください。
(2018～2061までの間で下2桁を入力)
- ⑤ キーボードが表示されますので年を入力します。
- ⑥ 画面左下の「決定」をタップします。

【補足】

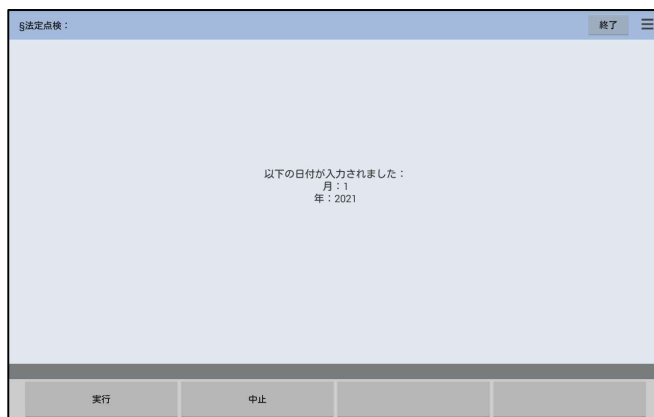
日付の入力を間違えると右図が表示されます。

注意：
日付入力時のエラー
入力する日付は未来のものでなければなりません！
インプットを繰り返します！

(次ページに続きます)

【手順004:入力した日付(月と年)の確認】

入力した日付の確認画面が表示されます。確認後、正しければ「実行」をタップしてください。



【手順005: CBS リセットの開始】

CBSリセットが開始されます。

表示が処理されます。
月:1
年:2021
お待ちください!

【補足】

リセットが完了しない場合、右図の画面が表示されます。

表示を変更できませんでした!

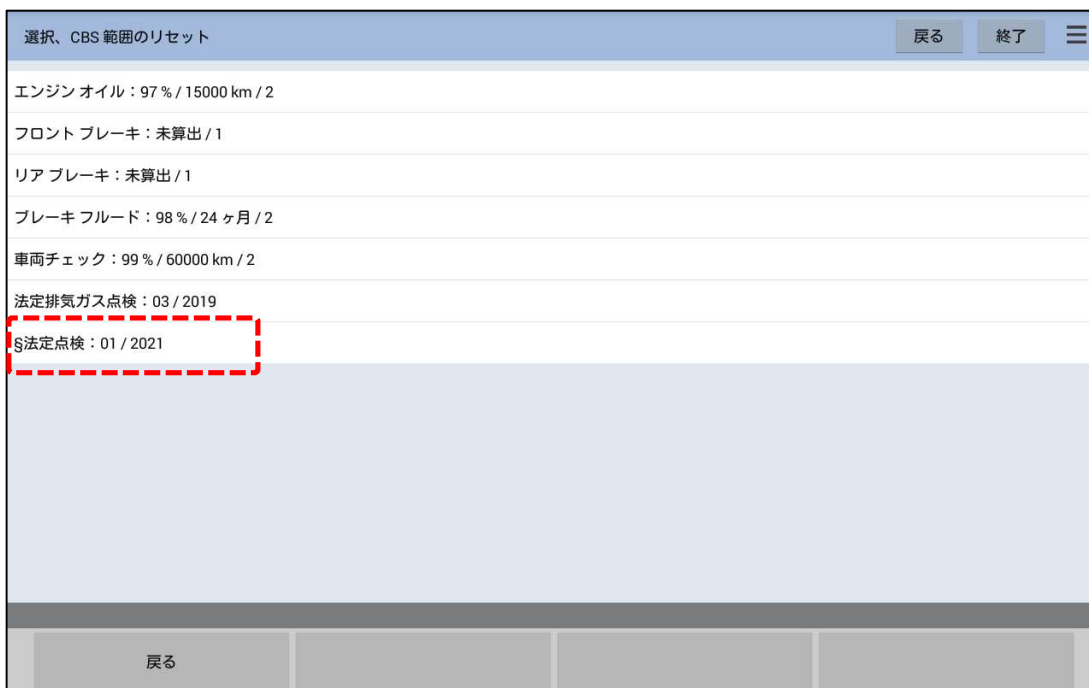
【手順006:リセット後の値の読み取り】

リセットが完了すると、リセット後の値の読み取りが開始されます。

CBS 範囲が読み出されます。
お待ちください!

【手順007:リセット後の値の読み取り】

下図の画面になりましたら、設定した項目の日付が正しく表示されているか確認して下さい。(完)



7.リセット未完了時のメッセージ一覧

【エンジンオイル】

エンジンコントロールユニットはエンジンオイルのCBSリセットを実行しませんでした。2回リセットを試みてもCBSリセットが行われない場合、エンジンコントロールユニットのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！

CBSリセットの不具合に関する既知の原因:

- ・オイルレベルセンサーの故障
- ・エンジンコントロールユニットがコーディングされていない

【ブレーキ】

DSCコントロールユニットはフロントブレーキパッドCBSリセットを実行しませんでした。2回リセットを試みてもCBSリセットが行われない場合、DSCコントロールユニットのトラブルシューティングを行います！故障のトラブルシューティングが正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！

CBSリセットの不具合に関する既知の原因:

- ・ブレーキパッド摩耗センサーが新品に交換されていません
- ・パーキングブレーキが操作されているか、ブレーキペダルが踏まれています。パーキングブレーキを解除し、車両が動き出さないように固定します。

【ブレーキフルード】

メーターパネルはブレーキフルードのCBSリセットを実行しませんでした。2回リセットを試みてもCBSリセットが行われない場合、メーターパネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！

【クーラント】

メーターパネルはクーラントCBSリセットを実行しませんでした。2回リセットを試みてもCBSリセットが行われない場合、メーターパネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！

【車両チェック】

車両チェックリセット前のエンジンオイルの残存有効度が100%であった場合以外、車両チェックリセットで満タンの残存有効度（100%）に届くことはできません。

車両チェックのリセットが2回目のリセット試行後にも実行されない場合、メーターパネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！

【スパークプラグ】

メーターパネルはスパークプラグCBSリセットを実行しませんでした。2回リセットを試みてもCBSリセットが行われない場合、メーターパネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！

【マイクロフィルタ】

IHKAコントロールユニットはマイクロフィルターCBSリセットを実行しませんでした。2回リセットを試みてもCBSリセットが行われない場合、IHKAコントロールユニットのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBSリセットを新たに行います。すべてのディフェクトメモリー登録の原因を除去します！